

# 地区内事業所景況調査ご報告

平成30年3月

入広瀬商工会

## 1. 調査要領

### ●調査対象

- ア 対象地区 入広瀬商工会地区内小規模事業者  
イ 調査企業数 61 事業所 (うち小規模事業者数 52 事業所)  
ウ 回答企業数 33 事業所 (うち小規模事業者数 32 事業所)  
(回答率 54.1%)

### ●調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	8	13.1%	2	6.1%
建設業	16	26.2%	13	39.4%
卸・小売業	12	19.7%	8	24.2%
サービス業	25	41.0%	10	30.3%
合計	61	100.0%	33	100.0%

## 2. 地域内産業全体の景況概要

- ・人口減少等がもたらす「需要の停滞」、競合他社との「受注、販売競争の激化」による個社の売上不振などが景況悪化の要因と考えられる。
- ・今後(来期)の景況見通しは、「悪化」が58% 「不変」が42%であった。  
大半が先行きを厳しく判断した一方、現状維持を予測(希望)した事業者も多くあった。

### 【後継者の状況】

「後継者あり」と回答した事業所は全体の約2割で、昨年度とほぼ同じ割合であった。  
業種別では、建設業5事業者・サービス業2事業者であった。

後継者 あり	7事業所	21.2%
後継者 なし	26事業所	78.8%

### 【売上高】

- ・前年同期に比べて「減少」と回答した事業所の推移 H28年:72% → H29年:70%
- ・前期に比べて「増加」と回答した事業所は6%(2件)であった。
- ・今後の見通しが「減少」と回答した事業所が最も多く、61%であった。

#### 前年同期比

増加	不変	減少
2	8	23

#### 前期比

増加	不変	減少
2	8	23

#### 今後の見通し

増加	不変	減少
1	12	20

### 【採算】

- ・前年同期に比べて「悪化」と回答した事業所の推移 H28年:47% → H29年:48%
- ・前期に比べて「好転」と回答した事業所は3%(1件)であった。
- ・今後の見通しが「悪化」と回答した事業所が最も多く、52%であった。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
1	16	16

#### 前期比

好転	不変	悪化
1	16	16

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
0	16	17

### 【仕入単価】

- ・前年同期に比べて「上昇」と回答した事業所の推移 H28年:22% → H29年:39%
- ・前期に比べて「低下」と回答した事業所は21%であった。
- ・今後の見通しが「不変」と回答した事業所が最も多く、45%であった。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
13	13	7

#### 前期比

上昇	不変	低下
13	13	7

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
12	15	6

### 【販売(客)単価】

- ・前年同期に比べて「低下」と回答した事業所の推移 H28年:25% → H29年:21%
- ・前期に比べて「上昇」と回答した事業所は9%(3件)であった。
- ・今後の見通しが「不変」と回答した事業所が最も多く、70%であった。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
3	23	7

#### 前期比

上昇	不変	低下
3	23	7

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
4	23	6

### 【資金繰り】

- ・前年同期に比べて「悪化」と回答した事業所の推移 H28年:39% → H29年:42%
- ・前期に比べて「好転」と回答した事業所は0%であった。
- ・今後の見通しが「不変」と回答した事業所が最も多く、58%であった。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
0	19	14	0	19	14	0	19	14

### 【雇用動向】

- ・前年同期に比べて「減少」と回答した事業所の推移 H28年:8% → H29年:15%
- ・前期に比べて「増加」と回答した事業所は3%(1件)であった。
- ・今後の見通しが「不変」と回答した事業所が最も多く、85%であった。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
1	27	5	1	27	5	0	28	5

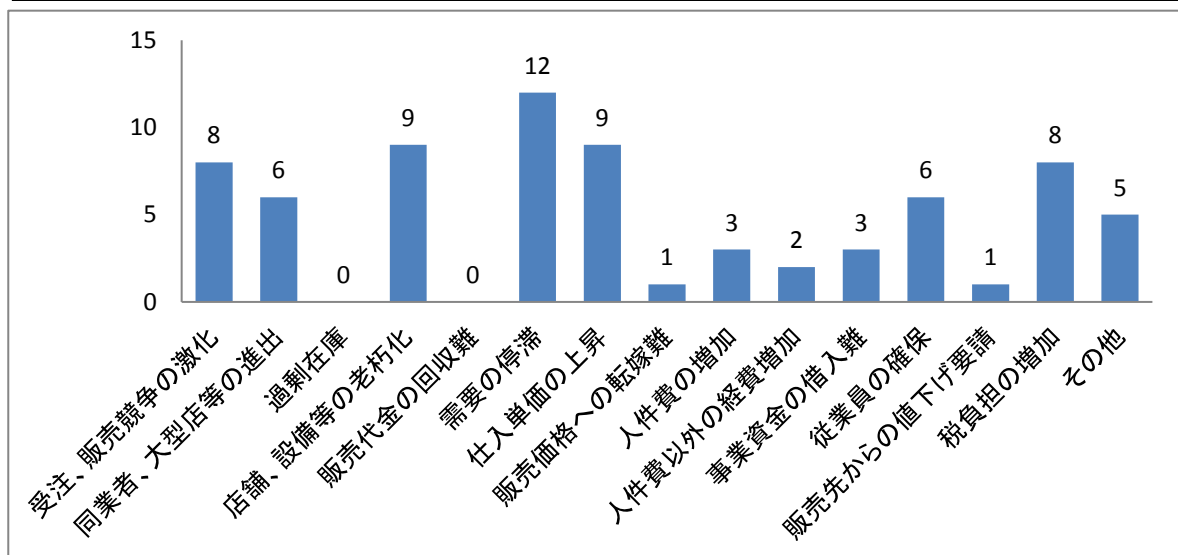
### 【景況判断】

- ・前年同期に比べて「悪化」と回答した事業所の推移 H28年:69% → H29年:76%
- ・前期に比べて「好転」と回答した事業所は0%であった。
- ・今後の見通しが「悪化」と回答した事業所が最も多く、58%であった。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
0	15	18	0	15	18	0	14	19

### 【経営上の問題点】

- ・前年と同じく「⑥需要の停滞」「①受注販売競争の激化」を回答した割合が多かった。
- ・「⑦仕入単価の上昇」「⑭税負担の増加」を回答した事業所数が前年に比べ倍増した。
- ・「④店舗設備等の老朽化」「⑥需要の停滞」は全業種で回答されていた。
- ・その他、「人口減少(2件)」「過去の負債」「公共工事の減少」の回答があった。



### 3. 産業別景況概要

#### (1) 製造業

- ・売上高は減少傾向にあり、採算や資金繰りも悪化傾向にある。
- ・経営上の問題点は取り扱う製造物が異なることもあり、事業者ごとに違いが見られる。
- ・人材(職人)の確保、製造原価(仕入・外注費)の上昇分の価格転嫁、設備の耐用年数などが業況に影響を与えている。

#### (2) 建設業

- ・売上高は減少または不変傾向にあるが、採算や資金繰りは事業者ごとに違いが見られる
- ・経営上の問題点で多くの回答が挙げたのは、「従業員の確保」「税負担の増加」「仕入単価の上昇」であった。
- ・公共工事の受注状況(県・市発注)、除排雪業務の委託状況(降雪量)、住宅リフォーム工事の受注状況(市補助金)などが業況に影響を与えている。

#### (3) 卸・小売業

- ・売上高は減少傾向、採算や資金繰りは悪化または不変傾向にある。
- ・経営上の問題点で多くの回答が挙げたのは、「受注・販売競争の激化」「同業者・大型店等進出」であった。
- ・人口動向や消費者動向が顧客数として業況に影響を与えている。

#### (4) サービス業

- ・売上高は減少傾向、採算や資金繰りは悪化または不変傾向にある。
- ・経営上の問題点で多くの回答が挙げたのは、「店舗・設備等の老朽化」「需要の停滞」「仕入単価の上昇」であった。
- ・人口動向や消費者動向、観光への取り組みが顧客数として業況に影響を与えている。